



2018 年度

一般社団法人 緑の循環認証会議 (SGEC/PEFC ジャパン)

第 3 回理事会・評議委員会資料

理事会・評議委員会

場 所 永田町ビル 4階 大会議室 (日本治山治水協会)
(千代田区永田町 2-4-3 TEL03-6273-3358)

日 時 2019 年 3 月 27 日 10:30~12:00 (理事会/評議委員会と同日開催)

一般社団法人 緑の循環認証会議 (SGEC/PEFC ジャパン)

2018 年度 一般社団法人 緑の循環認証会議 (SGEC/PEFC ジャパン)

第 3 回 評議委員会

次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長の選出
4. 議事
 - 議案第 1 号 2019 年度 事業計画 (案) について
 - 議案第 2 号 2019 年度 収支予算 (案) について
 - 議案第 3 号 2019 年度 短期借入金の限度額 (案) について
 - 議案第 4 号 2019 年度の会費及び納入方法 (案) について
 - 議案第 5 号 その他

- 報告 2018 年度事業報告について

6. 閉会

2018 年度 一般社団法人 緑の循環認証会議 (SGEC/PEFC ジャパン)

第 3 回 理事会

次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認
4. 議長の選出
5. 議事録署名人の確認
6. 議事

議案第 1 号 2019 年度 事業計画 (案) について

議案第 2 号 2019 年度 収支予算 (案) について

議案第 3 号 2019 年度 短期借入金の限度額 (案) について

議案第 4 号 2019 年度の会費及び納入方法 (案) について

議案第 5 号 賛助会員新規加入の承認

議案第 6 号 役職員の任免

議案第 7 号 2019 年度社員総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 (案)
について

議案第 8 号 その他

報告 2018 年度事業報告について

7. 閉会

別冊資料一覧

資料1 2018年度年度事業報告について

資料2 SGEC 認証基準検討会報告（委託調査）

資料3 森林認証促進協議会及びWe Love Forest キャンペーンについて

資料4 森林認証管理要求事項 基準7で規定するモニタリングの実施方法について

議案第 1 号 2019 年度事業計画（案）について

2019 年度事業計画(案)

事業期間：2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日

はじめに

平成から新時代へ、改元に向けて高まる祝賀ムードの中で新しい年が始動した。我が国においては、少子高齢化に伴う人口減少が社会問題となる中で、木材総要量が減少し、木材需要構造も変化しつつあり、森林認証制度にも適切な運営が求められている。

世界の経済社会は経済の枠組みは、「環境」と「持続可能性（サステナビリティ）」をキーワードとする枠組みに大きく変革してきている。我が国政府は、SDGs 実施方針を定め、各企業も推進に取り組み、持続可能な森林経営を実現する森林認証制度の役割に対する関心はとみに高まりつつある。

このような中で、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」）は、「持続可能な木材調達基準」、「持続可能な紙・パルプの調達基準」を策定・調達し、全国各地で SGEC 森林認証や CoC 認証の取得の動きが活発化し、関連施設建設で SGEC や東南アジアの PEFC 加盟国の認証材の利用が定着しつつある。今後、認証森林のさらなる増加、公共建築物、木造住宅建築、認証紙の利用などにおける認証材利用が進むことが期待される。

また、PEFC は、2018 年に森林管理認証基準、グループ森林管理認証基準を改定したが、わが国においても、クリーンウッド法の施行状況、森林経営管理法の成立、森林環境税・森林環境贈与税の創設、アイヌ新法の国会上程など森林認証をめぐる状況に大きな変化がある。このため、SGEC 認証規格について適時適切に検討する必要がある。

また、SGEC 認証森林、CoC 事業体の全体に占めるシェアは拡大してきたが、10%未満で、その普及率はいまだ低位にある。今後、森林認証制度を普及拡大し、SDGs の達成に貢献するためには、森林認証制度の社会的認知度を高めることはもとより、森林認証材ビジネスの活性化・認証材サプライチェーンの構築が必要である。SGEC の業務運営に関しては、2016 年 6 月の PEFC 国際森林認証以降、SGEC/PEFC ジャパンとしての新認証制度への移行作業はほぼ終了段階にある。このような状況を踏まえ、より適格な認証制度の運営を期して、必要な認証規格の見直しを行い、SGEC/PEFC 認証制度の完成度を高めていく必要がある。

以上のような考え方に基つき次の事業を実施する。

1. SDGs に貢献する SGEC/PEFC 活動の展開

森林認証事業体、COC 認証事業体の事業活動は SDGs 実現に貢献するものであり、森林認証の取得事業体は、SDGs 実現に積極的な事業体である旨の理解を促進するため、森林認証フォーラムを開催するなど、SDGs を踏まえた効果的な活動を展開する。

2. SGEC/PEFC 相互承認認証規格の検討

2016 年の PEFC との相互承認有効期間が 5 年間であること、また、2018 年の PEFC 森林管理認証基準、グループ認証基準の改正がなされたこと、わが国においては、クリーンウッド法の施行、森林経営管理法の成立、森林環境税・森林環境贈与税の創設、アイヌ新法の国会案など状況変化がある。今後、必要に応じ、適切な認証規格の見直し等を行うため規格検討会を引き続き開催し、SGEC 認証規格について必要な検討を行う。アイヌ関連規定については、アイヌ新法の成立・施行及び認証状況を検証し、必要な見直しを行うこととする。

3. SGEC/PEFC 認証材ビジネス活性化への貢献

認証材ビジネスの活性化・サプライチェーンの構築に貢献していくため、国内の関係団体等・関係国の認証管理団体等と連携し、内外の状況変化に対応し、SGEC/PEFC ブランドの普及、関係国との情報交流の促進、公共施設建設における認証材使用や企業の環境ブランド志向の動きの支援、紙、住宅、家具及び輸出入等需要分野別認証材需要拡大対策を啓発する。特に認証森林・COC 事業体情報の HP 上への公開、SGEC/PEFC 国際フォーラム、地方セミナーの開催等によりステークホルダー、及び消費者と密接な関係を持つブランドオーナーに対し適時適切に認証情報を提供するとともに、認証材ビジネスの活性化・サプライチェーンの構築に貢献していく。

なお、2018 年 3 月に設立された森林認証促進協議会に事務局として参加し、森林認証の促進、及び“*We love Forest*” キャンペーンを実施する。

4. 信頼される認証体制の確立

SGEC/PEFC 認証制度は、認証管理団体 (SGEC/PEFC ジャパン)、認定機関 (JAB)、認定認証機関がそれぞれ厳正に独立し、ISO 国際規格に基づきそれぞれの責務を果たすことが、信頼される制度としての存立するための重要な要件となっている。このことを十分考慮し、認定機関、認証機関と緊密な連携のもとに意見交換を行うとともに、それぞれの機関にかかる苦情処理制度の的確な運用によって適正に認証制度が運営されるよう啓発する。

特に、認証機関とは SGEC/PEFC 認証規格について常に情報交換を行い、認証機関によって、SGEC/PEFC 認証規格に基づき的確な認証が行われるよう啓発する。

5. SGEC/PEFC 認証業務等の執行体制の充実

PEFC 本部及び PEFC 加盟国の認証管理団体などと緊密に連携しつつ、PEFC との相互承認認証制度はもとより、日本国内の PEFC 認証制度を管理する機関としての業務体制を充実する。

6. 会員の拡大

多くのステークホルダーの参画のもとに SGEC/PEFC 認証制度が運営できるよう正会員の拡大に努める。また、SGEC/PEFC 認証制度の趣旨に賛同し、財政的支援をしていただく賛助会員の拡大も併せて推進する。

7. 広報の充実

ホームページ等を通じて SGEC/PEFC 認証に関する情報を適時適切に提供するとともに、他団体が開催する各種の会議やフェアに積極的に出席・参画し、SGEC/PEFC 認証制度の普及・啓発に努める。

議案第2号 2019年度収支予算（案）について

収支予算書(案)

2019年4月1日から2020年3月31日まで			
(単位:円)			
科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 会費収入	2,500,000	2,400,000	100,000
・正会員会費収入	1,000,000	1,000,000	0
・賛助会員会費収入	1,500,000	1,400,000	100,000
(2) 公示料収入	52,000,000	48,000,000	4,000,000
・FM公示料	2,000,000	2,000,000	0
・CoC公示料	50,000,000	46,000,000	4,000,000
(3) 助成金収入	2,600,000	2,400,000	200,000
・助成金収入	2,600,000	2,400,000	200,000
(5) 雑収入	801,000	1,101,000	△ 300,000
・利息収入	1,000	1,000	0
・雑収入	800,000	1,100,000	△ 300,000
事業活動収入計	57,901,000	53,901,000	4,000,000
2. 事業活動支出			
(1) 事業費	43,100,000	41,680,000	1,420,000
・報酬給与費	14,500,000	16,380,000	△ 1,880,000
・福利厚生費	1,500,000	800,000	700,000
・会議費	400,000	300,000	100,000
・旅費交通費	500,000	300,000	200,000
・普及啓発費	8,000,000	7,000,000	1,000,000
・本部分担金	4,000,000	3,200,000	800,000
・本部開発費	8,000,000	4,000,000	4,000,000
・事業推進費	500,000	400,000	100,000
・業務委託費	5,000,000	8,600,000	△ 3,600,000
・会議室使用料	200,000	300,000	△ 100,000
・公租公課	100,000	100,000	0
・事業雑費	400,000	300,000	100,000

収支予算書(案) つづき1

2019年4月1日から2020年3月31日まで				
				(単位:円)
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	
(2) 管 理 費	12,980,000	12,500,000	480,000	
・報酬給与費	6,200,000	7,020,000	△ 820,000	
・福利厚生費	600,000	350,000	250,000	
・旅費交通費	800,000	800,000	0	
・通信運搬費	300,000	300,000	0	
・備品・消耗品費	1,000,000	800,000	200,000	
・借室料	3,500,000	2,900,000	600,000	
・交際費	30,000	30,000	0	
・会費分担金	300,000	100,000	200,000	
・雑費	250,000	200,000	50,000	
(3) その他の事業活動支出	1,000,000	1,000,000	0	
・公租公課	1,000,000	1,000,000	0	
事業活動支出計	57,080,000	55,180,000	1,900,000	
事業活動収支差	821,000	△ 1,279,000	2,100,000	
額				

収支予算書(案) つづき 2

2019年4月1日から2020年3月31日まで			
			(単位:円)
科 目	予算額	前年度予算額	増 △減
Ⅱ 投資活動収支の部			0
1. 投資活動収入			0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			0
・特定資産取得支出	10,000,000	8,000,000	2,000,000
投資活動支出計	10,000,000	8,000,000	2,000,000
投資活動収支差額	△ 10,000,000	△ 8,000,000	△ 2,000,000
Ⅲ 財務活動収支の部			0
1. 財務活動収入			0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	199,889	99,889	100,000
当期収支差額	△ 9,378,889	△ 9,378,889	0
前期繰越収支差額	9,378,889	9,378,889	0
次期繰越収支差額	0	0	0

(注) 2018年度決算結果によって一部修正が発生します。

議案第 3 号 2019 年度短期借入金の限度額について

2019 年度短期借入金の限度額を 500 万円とする。

議案第 4 号 2019 年度の会費及び納入方法(案)について

2019 年度の会費及び納入方法については、次による。

1. 会費の額

一般社団法人緑の循環認証会議 定款の付属文書 1-1 2012 に基づき次の通りとする。

正会員会費（年額） 団体 5 万円、個人 3 千円

賛助会員会費（年額） 団体 1 口 5 万円 1 口以上

2. 納入方法

会費は 2018 年 9 月末までに 1/2 以上を、また、残額を 3 月末までに納入するものとする。但し、特別な事情がある場合は、本社团と打合せの上、時期を定めて納入することが出来る。

また、新たに加した会員については、本社团と打合せの上、会費の額および納入時期を定めるものとする。

<参考 1>

附属文書 1-1 2012 (抜粋)

正会員及び賛助会員の入会金及び会費の額

一般社団法人緑の循環認証会議定款第 8 条で定める正会員、賛助会員の入会金及び会費は次の通りとする。

- 1 正会員会費（年額） 団体 5 万円、個人 3 千円
(中央業界団体及び学識経験者、NPO, 消費者活動者等の団体並びに個人等のステークホルダー)
- 2 賛助会員会費（年額） 団体 1 口 5 万円 1 口以上
(認証取得者（企業）等で SGEC の活動に賛同する者)
- 3 入会金は定めない。

<参考 2>

2018 年度会費入金状況

正会員 団体	20 団体	1,000,000 円
賛助会員	17 団体	1,350,000 円
合 計		2,350,000 円

議案第 5 号 賛助会員新規加入の承認

賛助会員新規加入の申し込みがあったので、承認を求める。

賛助会員新規加入の申し込み者の名称・代表者・所在地・電話番号

1. 名称 公益社団法人 国土緑化推進機構
2. 代表者 会長:衆議院議長
3. 所在地 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2 丁目 7-4 砂防会館別館 (B 棟 5 階)
4. 電話番号 TEL 03-3262-8451 FAX 03-3264-3974

議案第6号 役職員の任免

(議長要請により事務局案を議場配布。のち理事会、会長決定)

役職	退任	新任
専務理事	山田 寿夫	梶谷 辰哉
事務局長	中川 清郎	梶谷 辰哉

議案第7号

2019年度社員総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 (案) について

2017年度社員総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 (案)

- 1 日 時 2019年6月27日(木) 10:30～12:00
- 2 場 所 永田町ビル(社)日本治山治水協会 会議室
(東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル4階)
- 3 議事に付議すべき事項
議案第1号 2018年度 決算報告について
議案第2号 2018年度 監査報告について
議案第3号 その他

報告

- 2018年度 事業報告について
- 2019年度 事業計画について
- 2019年度 収支予算について

別添

一般社団法人 緑の循環認証会議 (SGEC/PEFC ジャパン)

理事、評議委員名簿

緑の循環認証会議 理事名簿（2019年3月現在）		
	理事	
会 長・理 事	佐々木 恵彦	（公財）国際緑化推進センター
副会長・理事	木平 勇吉	東京農工大学名誉教授
副会長・理事	前田 直登	（一社）日本林業協会
理 事	篠原 明	森林労連:全日本森林林業木材関連産業労働組合連合会 委員長
理 事	大木美智子	（一財）消費科学センター
理 事	箕輪 光博	東京大学名誉教授
理 事	沖 浩	（公財）森林文化協会
理 事	梶谷 辰哉	学識経験者・SGEC事務局
理 事	奥田 辰幸	日本製紙連合会
理 事	川喜多 進	日本合板工業組合連合会
理 事	酒井 秀夫	東京大学名誉教授
理 事	志賀 和人	前筑波大学教授
理 事	津元 頼光	（一社）日本治山治水協会
理 事	中川 清郎	SGEC事務局長
理 事	片岡 明人	（一社）日本木造住宅産業協会
理 事	平之山俊作	前全国森林組合連合会
理 事	廣瀬 道男	（公財）オイスカ
理 事	森田 一行	（一社）全国木材組合連合会
専 務 理 事	山田 寿夫	学識経験者・SGEC事務局
監 事	井上 幹博	（一社）木材情報センター
監 事	萩原 宏	学識経験者
定数 理事 19 監事 2		

緑の循環認証会議 評議委員名簿（2019年3月現在）

	評議委員	
	赤尾 信敏	(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)
	天野 彰	(株)アトリエ・フォア・エイ
	安藤 直人	東京大学名誉教授
	大熊 幹章	東京大学名誉教授
	大石美奈子	(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)
	岡田 清隆	日本木材輸入協会
(座長代理)	柳田 真一郎	国立研究法人 森林総合研究所
	叶 芳和	日本経済大学大学院
	上河 潔	紙パルプ専門家
	興梠 克久	筑波大学准教授
	立花 敏	筑波大学准教授
	坂本 有希	(一財)地球・人間環境フォーラム(GEF) 企画調査部長・理事
	水田 勇司	森林労連:全日本森林林業木材関連産業労働組合連合会 書記長
(座長)	田中 潔	大日本山林会
	田中 隆	元日本適合性認定協会
	出島 誠一	(公財)日本自然保護協会
	羽賀 正雄	元林野庁
	葉山 政治	(公財)日本野鳥の会
	日比 保史	(一社)コンサベーション・インターナショナル・ジャパン
	藤原 敬	(一社)ウッドマイルズフォーラム
	山縣 睦子	MORIMORI ネットワーク
	山崎 信介	(一社)日本林業経営者協会
	渡辺 綱男	日本自然環境研究センター
定数：23		

緑の循環認証会議 事務局名簿	
役 職	氏 名
理事・会長	佐々木 恵彦
専務理事	山田 壽夫
理事・事務局長	中川 清郎
理事・参与	梶谷 辰哉
企画部長	三島 征一
管理部長	竹田 元次
認証部長	瀬川 宗生
国際部長	堀尾 牧子
参与	高原 繁
参与	武内 晴義